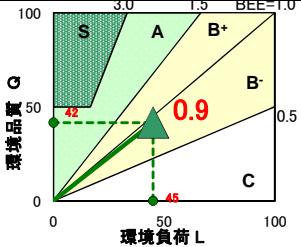
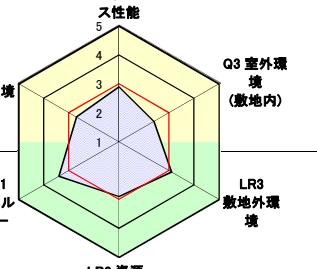
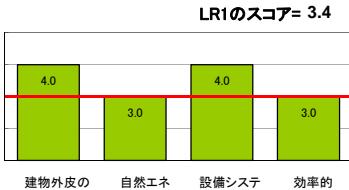
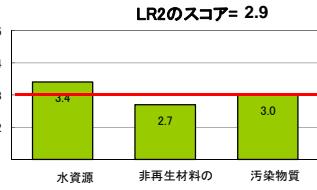
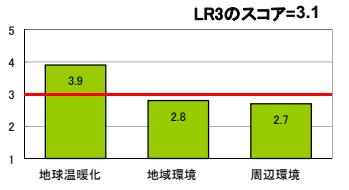


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)三ツ知春日井工場	階数	地上1F
建設地	愛知県春日井市牛山町字寄セ下54	構造	S造
用途地域	指定なし、法22条区域	平均居住人員	80 人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年9月 予定	評価の実施日	2016年7月10日
敷地面積	9,496 m ²	作成者	株式会社大野
建築面積	4,346 m ²	確認日	2016年7月10日
延床面積	4,235 m ²	確認者	株式会社大野

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ 温暖化影響チャート	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.9  S: ★★★★★ A: ★★★★ B: ★★★★ B+: ★★ C: ★ 	 標準計算 <ul style="list-style-type: none"> ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)	Q のスコア = 2.6	
Q 環境品質	Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.7	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.9
		
	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.4	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.4
LR 環境負荷低減性	LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.4	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.9
		
	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.1	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.1
		

3 重点項目			
①地球温暖化への配慮		③敷地内の緑化	
			
3.9		2.0	
外構緑化指標(外構緑化面積/外構面積) 22.8 %		建物緑化指標(建物緑化面積/建築面積) 0.0 %	
②資源の有効活用		④地域材の活用	
			
2.9		1.0	
<外装材に使用した地域性のある材料> なし		<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材> なし	

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3.1 地球温暖化への配慮
②資源の有効活用
Q-2.2 耐用性・信頼性、Q-3.3 対応性・更新性
LR-2.2 非再生性資源の使用量削減
③敷地内の緑化
Q-3.1 生物環境の保全と創出
④地域材の活用
Q-3.2 まちなみ・景観の配慮
⑤地域性のある素材による良好な景観形成

外構緑化指標 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

建物緑化指標 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$



スコアシート 実施設計段階		独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	評価点			重み 係数		評価点	重み 係数	
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能	3.0	0.40	-	-	-	-	-	
2 界壁遮音性能	3.0	0.40	-	-	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	3.0	0.40	3.0	-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	3.0	-	3.0	-	-	-	-	
1.3 吸音	3.0	0.20	3.0	-	-	-	-	
2 溫熱環境								
2.1 室温制御	2.6	0.35	-	-	-	-	-	2.6
1 室温	3.0	0.50	-	-	-	-	-	
2 外皮性能	3.0	0.38	3.0	-	-	-	-	
3 ゾーン別制御性	3.0	0.25	3.0	-	-	-	-	
2.2 湿度制御	1.0	0.20	1.0	-	-	-	-	
2.3 空調方式	3.0	0.30	1.0	-	-	-	-	
3 光・視環境								
3.1 曜光利用	3.0	0.25	-	-	-	-	-	3.0
1 曜光率	3.0	0.30	-	-	-	-	-	
2 方位別開口	3.0	0.60	3.0	-	-	-	-	
3 曜光利用設備	3.0	-	3.0	-	-	-	-	
3.2 グレア対策	3.0	0.30	-	-	-	-	-	
1 曜光制御	3.0	1.00	4.0	-	-	-	-	
3.3 照度	3.0	0.15	3.0	-	-	-	-	
3.4 照明制御	3.0	0.25	3.0	-	-	-	-	
4 空気質環境								
4.1 発生源対策	2.4	0.25	-	-	-	-	-	2.4
1 化学汚染物質	3.0	0.50	-	-	-	-	-	
2 アスベスト対策	3.0	1.00	3.0	-	-	-	-	
4.2 換気	2.3	0.30	-	-	-	-	-	
1 換気量	3.0	0.33	3.0	-	-	-	-	
2 自然換気性能	3.0	0.33	3.0	-	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮	1.0	0.33	1.0	-	-	-	-	
4.3 運用管理	1.0	0.20	-	-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視	1.0	0.50	-	-	-	-	-	
2 喫煙の制御	1.0	0.50	-	-	-	-	-	
Q2 サービス性能								
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ	2.6	0.40	-	-	-	-	-	2.6
1 広さ・収納性	2.0	0.40	-	-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応	1.0	0.33	3.0	-	-	-	-	
3 ハリアフリー計画	2.0	0.33	4.0	-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性	3.0	0.30	-	-	-	-	-	
1 広さ感・景観	4.0	0.33	4.0	-	-	-	-	
2 リフレッシュスペース	2.0	0.33	-	-	-	-	-	
3 内装計画	3.0	0.33	-	-	-	-	-	
1.3 維持管理	3.0	0.30	-	-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	3.0	0.50	-	-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保	3.0	0.50	-	-	-	-	-	
3 施工管理業務	-	-	-	-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性								
2.1 耐震・免震	2.8	0.31	-	-	-	-	-	2.8
1 耐震性	3.0	0.48	-	-	-	-	-	
2 免震・制振性能	3.0	0.80	-	-	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数	3.0	0.20	-	-	-	-	-	
1 軟体材料の耐用年数	2.7	0.33	-	-	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	3.0	0.23	-	-	-	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	3.0	0.23	-	-	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	3.0	0.09	-	-	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	3.0	0.08	-	-	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	3.0	0.15	-	-	-	-	-	
2.4 信頼性	2.6	0.19	-	-	-	-	-	
1 空調・換気設備	3.0	0.20	-	-	-	-	-	
2 給排水・衛生設備	2.0	0.20	-	-	-	-	-	
3 電気設備	3.0	0.20	-	-	-	-	-	
4 機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-	-	-	-	
5 通信・情報設備	2.0	0.20	-	-	-	-	-	
3 対応性・更新性								
3.1 空間のゆとり	3.6	0.29	-	-	-	-	-	3.6
1 階高のゆとり	5.0	0.31	-	-	-	-	-	
2 空間の形状・自由さ	5.0	0.60	2.0	-	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり	5.0	0.40	3.0	-	-	-	-	
3.3 設備の更新性	3.0	0.31	3.0	-	-	-	-	
1 空調配管の更新性	3.0	0.38	-	-	-	-	-	
2 給排水管の更新性	3.0	0.17	-	-	-	-	-	
3 電気配線の更新性	3.0	0.17	-	-	-	-	-	
4 通信配線の更新性	3.0	0.11	-	-	-	-	-	
5 設備機器の更新性	3.0	0.11	-	-	-	-	-	
6 パックアップベースの確保	3.0	0.22	-	-	-	-	-	

スコアシート		実施設計段階											
配慮項目		独自基準 重点項目		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分 評価点		住居・宿泊部分 評価点		重み 係数		全体	
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.39	-	-	-	2.4		
1 生物環境の保全と創出	独自③					2.0	0.30	-	-	-	2.0		
2 まちなみ・景観への配慮	独自④					3.0	0.40	-	-	-	3.0		
3 地域性・アメニティへの配慮						2.0	0.30	-	-	-	2.0		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④					2.0	0.50	-	-	-	2.0		
3.2 敷地内温熱環境の向上						2.0	0.50	-	-	-	2.0		
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	-	3.1		
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	-	3.4		
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPIm=0.74					4.0	0.02	-	-	-	4.0		
2 自然エネルギー利用						3.0	0.27	-	-	-	3.0		
3 設備システムの高効率化						4.0	0.42	-	-	-	4.0		
集合住宅以外の評価(3a,3b)	BEIm=0.57					4.0	1.00	-	-	-			
集合住宅の評価(3c)						-	-	-	-	-			
4 効率的運用						3.0	0.28	-	-	-	3.0		
集合住宅以外の評価						3.0	1.00	-	-	-			
4.1 モニタリング						3.0	0.50	-	-	-			
4.2 運用管理体制						3.0	0.50	-	-	-			
集合住宅の評価						-	-	-	-	-			
4.1 モニタリング						3.0	-	-	-	-			
4.2 運用管理体制						3.0	-	-	-	-			
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	-	2.9		
1 水資源保護						3.4	0.15	-	-	-	3.4		
1.1 節水						4.0	0.40	-	-	-			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	-			
1. 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.67	-	-	-			
2 雜排水等利用システム導入の有無						3.0	0.33	-	-	-			
2 非再生性資源の使用量削減						2.7	0.63	-	-	-	2.7		
2.1 材料使用量の削減						-	2.0	0.07	-	-			
2.2 既存建築躯体等の継続使用						-	3.0	0.24	-	-			
2.3 脱体材料におけるリサイクル材の使用						-	3.0	0.20	-	-			
2.4 脱体材料以外におけるリサイクル材の使用						-	1.0	0.20	-	-			
2.5 持続可能な森林から産出された木材						-	3.0	0.05	-	-			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み						-	4.0	0.24	-	-			
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.0	0.22	-	-	-	3.0		
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.32	-	-	-			
3.2 フロン・ハロンの回避						3.0	0.68	-	-	-			
1 消火剤						-	-	-	-	-			
2 発泡剤(断熱材等)						-	3.0	0.50	-	-			
3 冷媒						-	3.0	0.50	-	-			
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	-	3.1		
1 地球温暖化への配慮	①					3.9	0.33	-	-	-	3.9		
2 地域環境への配慮						2.8	0.33	-	-	-	2.8		
2.1 大気汚染防止						3.0	0.25	-	-	-			
2.2 温熱環境悪化の改善						3.0	0.50	-	-	-			
2.3 地域インフラへの負荷抑制						2.2	0.25	-	-	-			
1 雨水排水負荷低減	独自					3.0	0.25	-	-	-			
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	-			
3 交通負荷抑制	独自					2.0	0.25	-	-	-			
4 廃棄物処理負荷抑制						1.0	0.25	-	-	-			
3 周辺環境への配慮						2.7	0.33	-	-	-	2.7		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	-			
1 騒音	独自					3.0	0.33	-	-	-			
2 振動	独自					3.0	0.33	-	-	-			
3 悪臭						3.0	0.33	-	-	-			
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制						3.0	0.40	-	-	-			
1 風害の抑制						3.0	0.70	-	-	-			
2 砂塵の抑制						3.0	-	-	-	-			
3 日照阻害の抑制						3.0	0.30	-	-	-			
3.3 光害の抑制						1.6	0.20	-	-	-			
1 屋外照明及び屋内照明のうら外に漏れる光への対策						1.0	0.70	-	-	-			
2 夕景の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	-			

重点項目スコアシート
(仮称)三ツ知春日井工場

実施設計段階

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2014年版+あいち版手引き
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.9
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.9	0.10	
② 資源の有効活用				2.9
Q2-2	耐震性・信頼性	2.8	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.12	外構緑化:22.8%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化
 重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $\frac{\text{（評価点} \times \text{全体に対する重み})\text{の総和}}{\text{重みの総和}}$

④地域材の活用
 重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■建物名称 (仮称)三ツ知春日井工場

計画上の配慮事項	
総合	・外皮に十分な断熱性能を施して熱損失を抑制すると共に、高効率機器や節水型機器を採用し、敷地内温熱環境の向上や資源の保護に努めています。
Q1 室内環境	・居室単位でエアコンを採用しており、冷暖は室単位にて設定でき、制御性に優れています。
Q2 サービス性能	・高さを少し高くし、空間の快適性の向上を図っています。
Q3 室外環境(敷地内)	・敷地の周囲に緑地を設け、できるだけまちなみ配慮した計画とした。
LR1 エネルギー	BPI _m =0.74、BEI _m =0.55で省エネ性能のよい建物となっています。
LR2 資源・マテリアル	・節水型便器やを採用して節水を図っています。
LR3 敷地外環境	・屋根や外壁の外皮に十分な断熱性能を施し、建具には複層ガラスを採用して熱損失を抑制しています ・LED照明を採用して設備システムの高効率化を図っています
その他	